



みんなのいいひと

第162号 2008年(平成20年)5月20日

「市社会福祉協議会」は、皆さんの参加と支えあいで福祉のまちづくりを進める社会福祉法に位置付けられた民間の福祉団体です。

〈発行〉社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会
〒229-0036 相模原市富士見6丁目1番20号 市立あじさい会館内
042 756 5034 FAX 042 759 4382
Eメール info@sagamiharashishakyo.or.jp
ホームページ http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

本紙は、奇数月20日発行です。

体験しながら学ぶボランティア講座

～この夏、新しいことにチャレンジ!～

ボランティアには興味があるけれど、「ボランティアってよくわからない」「ボランティアはどうも敷居が高い」そのようにお考えの皆さん、まずは体験しながらボランティアについて学んでみませんか?

ボランティア養成講座

- 対象** 市内在住・在学・在勤の15歳以上(中学生は含まない。)の方
定員 150名(応募者多数の場合は抽選となります。)
費用 1,500円+教材費
申込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、希望するコース別講座を第2希望まで記入の上6月10日(火)までに下記住所へ必着

基礎講座(全コース共通)

日時・会場	内容
①7月5日(土) 午後1時～3時30分 けやき会館	「これからのボランティアについて」 講義・グループ討議 講師:田園調布学園大学教授 村井祐一氏
②7月12日(土) 午後1時～4時30分 市民会館	「人と人のかかわり・障害者介助の体験」 ワークショップ・車いす体験など 講師:YWCA専門学校教務主任 土岐祥子氏
③7月19日(土) 午後1時～3時30分 市民会館	「障害者の話を聞き、活動の実際を聞く」 体験談・コース別講座紹介

コース別講座(各コースは教材費など実費が必要です。)基礎講座修了者で希望者

コース名	概要()内は教材費	日程
拡大写本 (11回)	視力の低い方が読む文字の書き方 (1,200円)	9/4～11/13 毎週木曜日午後
点訳 (11回)	点字の基礎 (1,000円)	9/4～11/13 毎週木曜日午前
外出援助 (7回)	外出時の介助、誘導 (1,000円)	9/2～10/21 毎週火曜日午後
録音① (13回)	活字の音声訳・録音 (700円)	9/2～12/2 毎週火曜日午前
録音② (6回)		9/4～11/13 隔週木曜日夜間
車いす社交ダンス (5回)	障害者・高齢者と一緒にダンスを楽しむ (500円)	9/30～11/4 毎週火曜日午後
認知症予防支援ボランティア養成 (8回)	認知症予防についての講義と実技 (3,000円)	7/24～11/13 第2・4木曜日午前
熟年表現朗読 (8回)	誰かのために楽しく本を読む (800円)	9/12～12/19 毎週金曜日午前
障害児・者支援 (5回)	障害児の保育など子育て支援 (1,000円)	9/5～10/24 毎週金曜日午前
福祉車両の運転・介助 (5回)	車いすのまま乗り降りできる車の運転・介助(無料)	9/27～11/1 毎週土曜日午前

問合せ 〒229-0036 相模原市富士見6-1-20あじさい会館内 相模原ボランティア協会講座係
電話 042-759-7982 ホームページ http://www18.ocn.ne.jp/~sagamiva/

高校生のみんな集まれ!夏の福祉体験

『ヤングボランティアスクール』

にTRYしてみよう!!



「子育てで大変なことってなんだろう?」
「障害のある方って普段の生活でどんなことに困っているんだろう?」

地域で暮らす障害のある方や子育て中の親、ボランティアと交流を図り、「福祉」を肌で感じてみよう!
学校の授業では学ぶことのできない貴重な体験に、この夏TRYしてみよう!

- 日程** 夏休み期間中の3～4日程度
対象 市内在住か在学の高校生
費用 交通費、食事代など(体験メニューにより異なります。)
申込み 市内6か所のボランティアセンター(場所は4面参照)にある指定の申込書に必要事項を記入の上、6月2日(月)～23日(月)に最寄の窓口へ直接提出
問合せ ボランティアセンター 電話 042-786-6181

平成20年度 市社協の賛助会員募集 一般賛助会費200円 特別賛助会費1,000円 法人賛助会費20,000円

地域福祉活動の推進に賛同していただける市民や企業の皆様に、賛助会員として会費をお願いしています。市社協の構成員である地区社会福祉協議会・自治会連合会・民生委員児童委員協議会の協力により集めていただいた賛助会費は、地区社協への支援事業や広報紙「みんなのいいひと」の発行、ボランティアの育成事業、家事援助・介助サービス「ふれあいサービス」などに活用しています。また、会費のうち、一般賛助会費の3割と特別賛助会費の8割は、地区社会福祉協議会に配分し、地域福祉活動のために活用していただきます。本年度も7月から募集を開始します。募集の趣旨をご理解の上、皆様のご協力をお願いします。

問合せ 総務グループ 電話 042-730-3888

「こんなときどうするの!?!」
「こんな活動してみたい」

福祉に関する情報やボランティア募集など
新聞以外でもいろいろ分かります!

～社協さがみはら「みんなのいいひと」 点字版・録音版～ 目の不自由な人にご紹介ください

～みんなのいいひとメールマガジン 毎週水曜日 無料配信～ 購読申込は市社協ホームページから

～携帯版ホームページはこちら～

～福祉情報文字放送中～ J-COM 2チャンネル 毎日 AM 7:00～、PM 1:00～、7:00～

～マンガで楽しく福祉を読もう～ 秋 竜山 著「みんなのいいひと」第1～18巻 無料配布中!



平成20年度 相模原市社会福祉協議会事業計画

市社協では、「地域住民の参加と支えあいによる福祉のまちづくり」を実現するために、それぞれの地域の特性を活かした小地域の支えあい活動づくりを通して、地域のつながりを育ててまいります。

また、地域の皆さんや福祉関係諸団体、福祉事業者等と協働し、地域の福祉課題を発見・把握し、解決につないでいくため、各種福祉サービスにおいても、より効果的な方法で地域福祉の推進が図れるよう進めてまいります。

① 福祉情報提供の推進

広報紙については、全市版・地域版ともに新たに新聞折込みで配布を行うなど、福祉サービスやボランティア活動の情報などを地域の皆さんが入手しやすくなるよう努めます。また、リニューアルした市社協ホームページなど様々な媒体を活用して、多くの人に分かりやすい情報提供を行います。

② 地域の住民福祉活動の促進

22地区社協を地域福祉の推進役と位置付け、その活動がさらに活発になるよう、各地区社協拠点におけるIT環境の整備等を図るなど、福祉情報ネットワークの構築を図ります。また、地区社協と連携・協働して、平成21年度末までに高齢者などの仲間づくりの場である「ふれあい・いきいきサロン」の市内400か所設置を目標に、さまざまな研修会等を開催し、サロン立ち上げ支援を行います。

③ ボランティア活動の促進

新たに、ボランティア体験を希望する中・高校生等を対象に「夏休みボランティア体験相談会」を福祉施設等と連携して開催します。さらに、昨年度、反響の大きかった「発達障害の理解促進講座」の取り組みを踏まえ、関係機関・当事者組織との連携を図りながら、講座等の啓発事業、また、サポートする人材の育成等、発達障害児者に対する支援を行います。

④ 在宅福祉サービス事業の推進

「ふれあいサービス事業」などの住民参加型在宅福祉サービスについては、担い手の確保及びサービスの質を高めていけるよう推進します。また、福祉サービス利用者が、必要とするサービスを利用することができるよう、分かりやすい情報提供や総合的な支援を行います。

- ふれあいサービス事業** …有償会員方式で家事援助や介護サービス等を行います。
- ふれあい給食サービス事業** …ひとり暮らし高齢者等に食の提供や安否確認等を行います。
- ファミリーサポートセンター事業** …保育園の送迎や病気・リフレッシュや急用の場合などに、お子さまをお預かりします。

平成20年度予算(単位:千円)

会計名	本年度	前年度	比較
一般会計	1,837,418	1,756,793	80,625
公益会計	209,782	210,707	△925
収益会計	22,500	17,500	5,000
合計	2,069,700	1,985,000	84,700

地区社協 Vol.5 ってなあに?

相模原市には、22か所の地区社会福祉協議会、通称「地区社協」があります。地区社協は、地域住民の皆さんによって運営されており、その地域に必要とされるさまざまな福祉事業を行っています。

「みんないいひと」では、各地区の地区社協の特徴や主な取り組みを毎号ご紹介していきます。今回のテーマは「いざというときのために～防災への取り組み～」です。

橋本地区社協「災害対応は人の手で」

～ 地域の実情を踏まえた災害対応の取り組み ～

相模原市の中央に位置する橋本地区は、橋本駅を中心に商業地域が形成されています。また、集合住宅等の建設など人口増加が進む中で、大規模災害発生時に向けた地域の取り組みが重要になってきています。

橋本地区社会福祉協議会(石井元二会長)では、昨年、二本松町内会の役員から「災害弱者を対象にした訓練が何かできませんか」と相談を受け、「ブルーシートテント設置訓練」を紹介しました。これは、皆さんの自宅にあるブルーシートや物干し竿等を簡易テントとして利用するもので、ここ数年、市内各所で実施されている防災訓練でも見受けられるようになってきました。訓練に参加した二本松町内会の方は「身近にあるブルーシートにこんな活用方法があることは知りませんでした。体育館(避難所)になじめない方には大切だと思います」とのこと。



また、橋本地区社協では、役員を中心に市社協が実施する防災ボランティアセンター設置訓練に参加するなどさまざまな取り組みを模索しています。「地区社協にはさまざまな団体や人をつなげていく大切な役割があります。これからも防災や助け合いの取り組みを、いろいろな人の協力の下で進めていきたいと思っています」と石井会長。

激しく街が変化している地域性を踏まえ、人の力でできることに取り組む橋本地区社協の姿勢は、この地域の支えの一つになっています。

問合せ：橋本地区社会福祉協議会(橋本出張所内)
電話 042-772-6451

藤野町地区社協「災害発生!!どうしたら身を守れるか…」

～ 防災への取り組み ～

藤野町は南北に長い自然の山々に囲まれた地形と、山肌に集落が点在し、高齢化率は22%を超えています。いざ地震や台風襲来時、山崩れや橋の崩壊など住人が完全に孤立化してしまう不安がある地区でもあります。

藤野町地区社会福祉協議会(小野寺康雄会長)では、こうした地区内の危機感を解消しようと、地区の民生委員児童委員協議会と連携し、地域の地図に一人暮らしのお年寄り世帯、避難場所などを記入した福祉マップの作成などに取り組み始めました。特に山間で10数軒の家しかない地域などは、自治会、消防団など地域の組織の協力による防災体制が重要な役割を果たします。その組織を活かした吉野地区などでは、独自に災害時の伝達訓練や負傷者の手当て、炊出し訓練を実施しています。このような自治会独自の活動は年々活発になっていきます。



自分達の身は自分達で守る!～防災講座より～

今後、高齢化、過疎化が急速に進行していく中で、藤野町地区社協では、自治会、民生委員、消防団、駐在所等の関係機関と連携し、地域で安心して暮らしていけるまちづくりをめざします。

問合せ：藤野町地区社会福祉協議会(藤野総合事務所2階)
電話 042-687-3361

今月おすす
怒らない
斎藤茂太
体の健康、心の健康のためには、「急がない」「怒らない」
愉快に、楽しく、おおらかな生き方のための知恵の一杯つまったエッセイです。

問合せ：保健と福祉のライブラリー
ウェルネスさがみはら1階
電話 042-769-8275

活かしませんか?あなたの時間と素敵な笑顔!

募集

ふれあいサービス ~家事援助・介助サービス~

家事や外出等、日常生活でお困りの高齢者やご病気の方などに、有料で家事援助・介助を行う「ふれあいサービス」の協力を募集します。

協力会員 市内在住の20歳以上で2日間の研修を受講できる人。受講できない方もお問い合わせください。
保健師・看護師・介護福祉士などの資格をお持ちの方は随時登録ができます。

協力会員基礎研修会 (午前9時30分~午後4時)

○あじさい会館 6月24日(火)・25日(水)
申込み・問合せ:ふれあいサービスセンター
(市社会福祉協議会内) 電話 042-756-5034

ファミリーサポートセンター ~子育て支援サービス~

保育園・幼稚園・児童クラブなどの送迎や開始前または終了後の預かり、保護者の病気、リフレッシュや急用の場合の預かりなど、お子さんのさまざまな保育を有料で行います。

利用会員 生後3か月から小学校6年生(障害児は18歳の学年末迄)の子どもを持つ人
援助会員 心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができる20歳以上の人で、3日間の研修を受講できる人
保育士・看護師・小学校教諭などの資格をお持ちの方は随時登録ができます。
※利用会員・援助会員とも市内在住・在勤・在学の人

○説明会・講習会ともに要予約

入会説明会 (午前10時30分~1時間程度)

○あじさい会館 6月5日(木)・14日(土)・17日(火)
○南保健福祉センター 6月7日(土)・12日(木)

援助会員講習会 (午前9時30分~午後3時)

○南保健福祉センター 6月19日(木)・26日(木)・7月3日(木)
○あじさい会館 6月21日(土)・28日(土)・7月5日(土)
2会場組み合わせで3日間受講可能
※入会説明会・援助会員講習会とも保育あり(要予約)

申込み・問合せ:市ファミリーサポートセンター
(市社会福祉協議会内) 電話042-730-3885

法律相談 (弁護士による権利擁護相談)

~相談は個別、無料です。秘密は守ります!~

- ◆開設日時◆ 6月26日(木)・7月24日(木) 午後1時20分~4時
(お一人の相談時間は40分間です)
- ◆場 所◆ あじさい会館6階 権利擁護相談室
- ◆対 象◆ 高齢者、障害者とその家族
- ◆予約受付時間◆ 月~金曜日 午前8時30分~午後5時
(事前に電話予約をしてください)
- ◆申込み・問合せ◆ 相模原あんしんセンター 電話 042-756-5034

手話 ワンポイントレッスン No.3

耳が聞こえない人たちは、街の中などで皆さんに手助けをお願いすることがあります。そんな時に役立つ手話をぜひ覚えてください。

**【痛い】
パターン1**

5本の指を曲げ
指先を軽く屈伸
させる。



**【痛い】
パターン2**

5本の指を曲げた
手を左右に動かす。



頭の近くで「痛い」を表すと頭痛、お腹の前で表すと「腹痛」というように痛い場所によって表す場所が異なります。痛さの度合いは、表情や手を動かす速さなどに表れます。
耳が聞こえない人は電話を使えないので、救急車を呼びたくても呼べないことがあります。状況によっては、代わりに電話をして救急車を呼ぶなどしてください。
問合せ 市障害福祉課 電話 042-769-8355

平成19年度共同募金運動募集結果 神奈川県共同募金会相模原市支会
総額 67,487,918円
赤い羽根募金 47,615,711円 年末たすけあい募金 19,872,207円

平成19年度賛助会員募集結果 相模原市社会福祉協議会
総額 54,865,656円
一般賛助会費 41,306,206円 特別賛助会費 13,559,450円

平成19年度法人賛助会員募集結果
52法人会員 1,160,000円
企業・団体をはじめ、多くの皆さんからご支援をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

**一人ひとりが
福祉・活動**

「たくさんのご寄付をありがとうございます」
市社会福祉協議会には、市民の皆様から多くの寄付が寄せられ、福祉の向上に役立させていただいています。
「地域住民の参加と支えあいによる福祉のまちづくり」を実現するため、ひとりでも多くの方のご協力をお待ちしています。
平成20年2月1日から3月31日までにご寄付を寄せられた方は、次のとおりです。
敬称略・順不同()内は地区名

- 〔個人〕
社会福祉のために 佐藤 榮一(小山)、門脇 彩子(大野南)、矢沢 守(大沢)、飯田 利宇(相模原)、小島 恒子(津久井)、匿名4件(高年齢福祉のために 園部 智恵子(大野中) 少年院図書代のために 河本 徳一(大野北)
- 〔企業・団体〕
社会福祉のために 相模原市美術協会、(株)和産業(有)コワ(小山)、あじさい大学調理2・3、相模原市北部コープ委員、あじさい大学健康6、あじさい会館管理事務室前募金箱(中央)、TEPCOふれあいツアコンサートチャリティ募金係(星が丘)、セントラル自動車労働組合、コロムビア星有子(橋本)、ビバーチエ共和店、(株)くらしの友 相模原営業所、でいらぼっちまつり実行委員会(大野北)、上鶴間公民館リサイクルフェア実行委員会(大野南)、JA相模原市上溝支部 女性会(上溝)、相模原ボランティア委員会(津久井)、さがみ湖やまなみイルミネーション実行委員会(相模湖)
交通遺児のために 橋本地区交通安全母の会 相原支部(橋本)、ドリーミング(田名)
〔企業・団体〕
チケット等 (株)ドラゴンゲート(市外)
空気清浄機 中田屋(株)(橋本)
食料品 ヤマザキショップ大島屋酒店(大野北)

学校法人 西田学園 厚生労働省指定 東京都認可 〒194-0022 町田市森野1-7-10 広告
アルファ福祉専門学校 TEL 042-729-1026
URL http://www.alpha-net.ac.jp/

進学・就職に有利なホームヘルパー2級
★ホームヘルパー2級と
身体障害者同時種取得
スタート日 5/31(土)
◎自分の都合に合わせて受講できます◎
◎教育訓練給付金適用講座◎

★介護職員基礎研修
スタート日 9/6(土)

★ガイドヘルパー研修
7/13(日)・19(土)・20(日)

介護福祉士科(全日制2年)
入学説明会 退学する前に相談を!
随時開催! 通信制で高校を卒業!
鹿島学園高等学校協力校
アルファ町田校

アルファ付属 介護 治療院
アルファ福祉専門学校にある治療院です
●施術時間/月曜日~金曜日
午前9:30~12:00 午後1:30~5:30
●休診日/土・日・祝日、学校行事日
●問合せ先/TEL.042-721-1026

心のこもった食・住・楽・安のおもてなし 広告
住宅型有料老人ホーム

これからの生活の **行動・安心** の拠点。
それが **ドーミー相模原** です。

空室あとわずかとなりました!

昼食付見学会(無料)

ドーミー相模原のできたての家庭料理を召し上がってみませんか?
※完全予約制になります。

ドーミー相模原 訪問介護事業所
**登録ヘルパー
募集中!** 週1日~可能
時給/1,300円~
資格/ヘルパー2級以上
詳しくは下記までご連絡ください。

ドーミー相模原 管理運営(東証一部上場) 共立メンテナン http://www.dormy-senior.com
所在地/神奈川県相模原市相模原4-7-10
交通/JR横浜線「相模原駅」南口より徒歩7分(560m)
0120-015-993 (井上・二本柳)

病気になる! 急がな! 怒らな!

斎藤 茂太(著) (新講社)

○発達障害児支援のためのサポーター研修参加者募集

期間 5月30日(金)、6月6日(金)、6月20日(金) 午後6時30分～8時30分
内容 ADHDや広汎性発達障害などについて、少人数のグループワークを通して問題解決に向けた支援の仕方や周囲との連携について考える研修会
費用 3,000円
定員 35名
会場 杜のホールはしもと
申込み 5月26日(月)まで
問合せ NPO法人ワンダートンネル 電話 042-774-6335

福祉情報ポケット

○自閉症者支援施設やまびこ工房 地域交流バザー開催

日時 6月1日(日) 午前10時～午後2時
内容 模擬店や各種イベント、バザー、自主製品の販売
問合せ やまびこ工房(田名7236-3) 電話 042-760-1033

○「大学で学びたい」障害学生支援ボランティア募集

日時 火～金曜日 午前10時～午後4時30分の間
会場 全国障害学生支援センター(上鶴岡本町3-14-22-103)
内容 大学で学びたい障害のある学生を支援する団体でパソコンの入力や事務作業など、お手伝いくださる方を募集
問合せ 全国障害学生支援センター 電話/FAX 042-746-7719

○誰でもできるよ! ボランティア「アルミ缶を集めてフィリピンに学校を建てよう!」

内容 フィリピンの子どものために学校を建てることを目的に、アルミ缶の回収のボランティア募集
問合せ みんなの家(共和4-12-8) 電話 042-755-9010

募集しています! ボランティア

双子の子どもたちの遊び相手

内容: 双子の子ども(乳児から幼児)と一緒に保護者が月1度集まるサークルでオモチャ遊びやお絵描き等の遊びをします。
日時: 毎月1回 原則として土曜日 午後2時～4時
場所: 中央公民館(富士見2-13-1) または小山公民館(向陽町8-1)
問合せ: ボランティアセンター 電話 042-786-6181



ボランティア活動をはじめたいと考えている方々のために

ボランティア予備校

Table with 4 columns: 開催日, 時間, 場所, 内容. Rows include dates from 6/14 to 7/23 at various locations like あじさい会館 and 南保健福祉センター.

定員: 各会場20名(同じ内容です) 受講料: 無料
申込み: ①③に参加希望の方はボランティアセンターまで 電話 042-786-6181
②④に参加希望の方は南ボランティアセンターまで 電話 042-765-7085

ホームページに ボランティア情報載せてます! http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/

ボランティアに関する相談・活動内容等のお問い合わせは

ボランティアセンター(富士見6-1-20あじさい会館4階)

電話 042-786-6181 FAX 042-786-6182
Eメール: svc@sagamiharashishakyo.or.jp

南ボランティアセンター(相模大野6-22-1南保健福祉センター1階)

電話 042-765-7085 FAX 042-765-2185
Eメール: smvc@sagamiharashishakyo.or.jp

しろやまボランティアセンター(城山町久保沢2-26-1城山保健福祉センター2階)

電話 042-783-1212 FAX 042-782-4050
Eメール: shiroyama@sagamiharashishakyo.or.jp

つくいボランティアセンター(津久井町中野633津久井総合事務所第2別館1階)

電話 042-784-3393 FAX 042-784-6142
Eメール: tsukui@sagamiharashishakyo.or.jp

さがみこボランティアセンター(相模湖町若柳1203-2さがみ湖リフレッシュセンター2階)

電話 042-685-1033 FAX 042-685-1131
Eメール: sagamiko@sagamiharashishakyo.or.jp

ふじのボランティアセンター(藤野町小淵2000藤野総合事務所2階)

電話 042-687-3361 FAX 042-687-4049
Eメール: fujino@sagamiharashishakyo.or.jp

社会福祉協議会関係施設の休館日

あじさい会館 7月7日(月)
南保健福祉センター 6月1日(日)
さがみ湖リフレッシュセンター 毎週日曜日及び休日

次号社協さがみはら「みんないいひと」163号は 2008年(平成20年)7月20日発行

相模原市社会福祉協議会 ~非常勤職員募集のお知らせ~ (平成20年7月1日採用)

保健と福祉のライブラリー(図書室)事務員(募集人員1名)

業務内容 保健と福祉のライブラリーの図書閲覧及び貸出し業務
勤務日・勤務時間 日～土曜日の間で以下の①～③を組み合わせ月14日程度の勤務
①月～金曜日 午前9時～午後4時(1時間の休憩)
②月～金曜日 午後4時～7時
③土曜・日曜・祝日 午前9時～午後5時(1時間の休憩)
賃金 時給840円
勤務地 保健と福祉のライブラリー(富士見6-1-1 ウェルネスさがみはら1階)

事務局事務補助員(募集人員1名)

業務内容 市社協の事務局事務の補助業務
勤務日・勤務時間 月～金曜日の午前10時30分～午後5時(1時間の休憩)
賃金 時給840円
勤務地 市社協事務所(富士見6-1-20 あじさい会館4階)

申込方法 5月20日(火)から6月6日(金)までに所定の申込書と作文を本人が直接、市社協事務局(地域福祉グループ)に持参してください。

問合せ 地域福祉グループ 電話042-756-5034

相模原がホームタウンのアルプスビジネスサービスは介護分野において、広く展開しています。

仕事をお探しの皆様

- 職種/看護師、介護福祉士、保育士 ホームヘルパー1級・2級などの有資格者で経験者(未経験も応相談)
雇用形態/正社員、契約社員、紹介予定派遣社員(一定期間派遣後、施設の正職員)など
給与/当社規定により優遇(月給制・時給制)
待遇/社会保険完備、交通費支給、通信教育制度ほか
派遣先/相模原市内及びその周辺の高齢者介護施設等



介護就職相談 人材登録会

就職相談及び希望者による個別面談・随時開催中!

事前に必ずご予約下さい。日程については、調整させていただきます。お気軽にご連絡下さい!(出張面談も可能:ご自宅近くまでお問い合わせ)

ABS (株)アルプスビジネスサービス TEL.042-774-3339 担当:渡邊 http://www.jinzai-abs.co.jp/

0120-417-231 TEL.042-774-3339 担当:渡邊 http://www.jinzai-abs.co.jp/

介護のことならなんでもお気軽にご相談下さい。

福祉用具レンタル・販売、住宅改修

公的介護保険適用事業所(第1472602695号/神奈川県指定)
介護用品 相模原 ショップ
042-730-5616
〒229-0031
相模原市相模原3-7-1フェリッシュ相模原1F

営業 月～金曜日 午前 9:00～午後5:30
土曜日 午前10:00～午後5:00
休日 日曜日・祝日



0120-37-5616

詳しくはホームページをご覧ください http://www.shibahashi.co.jp/kaigo/ 株式会社 柴橋商会